

小児がん中央機関からの報告②

(相談支援、中央診断以外)

国立成育医療研究センター 小児がんセンター長
松本 公一

**小児がん拠点病院制定後の
小児がん患者の集約化
—情報公開から—**

全国の小児がん診療病院の情報公開とその解析

資料 3 - 2

文字サイズを大きくする English and Other Languages

代表: 03-3416-0181 / 予約センター (病院) : 03-5494-7300
(月～金曜日 (祝祭日を除く) 9時～17時)

アクセス・交通案内 お問い合わせ 取材・撮影について サイトマップ サイト内検索 調達情報

- 患者・ご家族の方へ
- 医療関係者の方へ
- 研究者・企業の方へ
- ご寄付について
- 採用・研修
- 国立成育医療研究センターについて
- 病 院
- 研 究 所
- 臨床研究開発センター



妊娠と薬情報センター

妊娠・授乳中の服薬に関する情報機関です。専門の医師・薬剤師が、あなたのご相談に応じます。



小児慢性特定疾病情報センター

「小児慢性特定疾病情報センター」の構築・情報発信を行い、小児慢性特定疾病児童等の治療・療養生活の改善等に寄与することを目的としています。



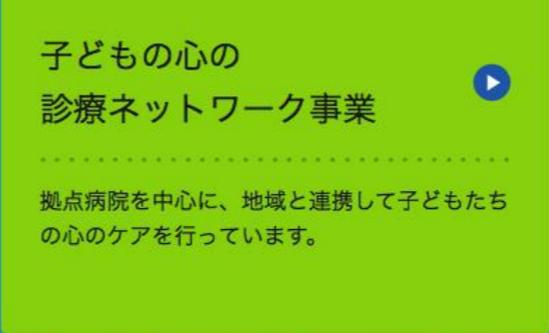
小児がんセンター (小児がん拠点病院・中央機関)

国立成育医療研究センターは、小児がんセンターを中心として、日本の小児がん診療をより良いものにするべく努力しております。



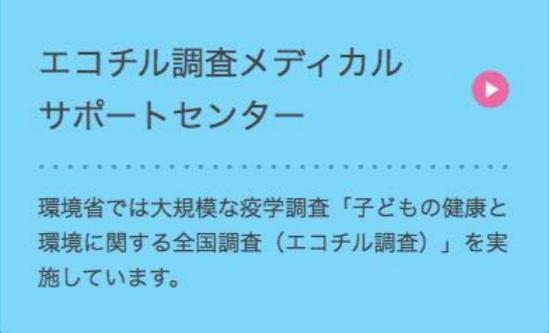
臨床研究品質確保体制整備事業

小児治験ネットワークの中核機関として積極的に臨床研究を実施し、また支援できる体制を構築するため、体制整備、スタッフの教育・研修などを実施しています。



子どもの心の診療ネットワーク事業

拠点病院を中心に、地域と連携して子どもたちの心のケアを行っています。



エコチル調査メディカルサポートセンター

環境省では大規模な疫学調査「子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)」を実施しています。

https://www.ncchd.go.jp/center/activity/cancer_center/



成育のHPの主な取り組みから小児がんセンターをクリックしてください

小児がんセンター 診療施設

検索





▶ 小児がん中央機関

国立成育医療研究センターは、「小児がん中央機関」として、相談支援、小児がんの診断支援（画像診断、病理診断、分子診断等）、小児がん登録体制の整備（データセンター）、人材育成（医師、看護師など）に取り組み、全国の小児がん拠点病院を牽引しています。

- ▶ 相談支援事業（準備中）
- ▶ 中央病理診断
- ▶ 中央分子診断
- ▶ 中央画像診断
- ▶ データセンター



▶ 全国の小児がん診療施設の情報

小児がん診療の質の向上や小児がん患者さんへの適切な医療の提供へつなげるため、全国の小児がん診療施設についての情報を掲載しています。各施設の病院住所などの基本情報、診療受け入れ、初発・再発別の診療実績や入院数、面会・相談・院内学級の有無、診療機能や専門資格保持者の有無などがご覧いただけます。



▶ 関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会

関東甲信越地域ブロックの新規小児がん患者数は年間約700-750人と国内における患者数の約1/3に相当しています。ブロック内の4つの小児がん拠点病院、地域の小児がん診療を担う各医療機関、10都県から構成される「関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会」は、小児がん地域計画書を策定し、ブロックにおける小児がん医療の質の向上を図り、小児がん患者とその家族が、慣れ親しんだ地域に留まり、安心して適切な医療や支援を受けられるような環境の整備を目標としています。

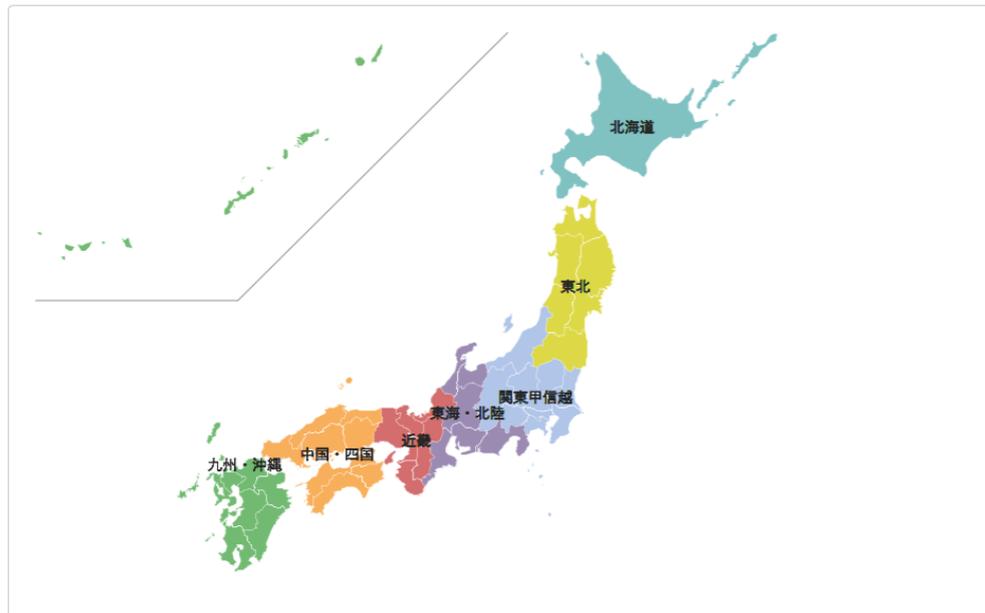
▶ 情報公開

▶ 主な取り組み

一覧の施設名をクリックすると、その施設の情報公開のPDFファイルが開きます。（全2ページです）
施設一覧の★マークは小児がん拠点病院に指定されている施設です。

スマートフォン等で地図が表示されない場合は、下記のリンクよりご覧ください。

- ▶ 北海道
- ▶ 東北
- ▶ 関東甲信越
- ▶ 東海・北陸
- ▶ 近畿
- ▶ 中国・四国
- ▶ 九州・沖縄



トップ > 国立成育医療研究センターについて > 主な取り組み > 小児がんセンター（小児がん拠点病院・中央機関） > 全国の小児がん診療施設の情報

全国の小児がん診療施設の情報

はじめに

この度、小児がん診療の質の向上や小児がん患者さんへの適切な医療の提供へつなげるため、各施設のご協力を得て小児がん診療施設についての情報を掲載することとなりました。

公開されている情報については下記の説明をよくお読みいただき、ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

お問合せ先

国立成育医療研究センター小児がんセンター内 小児がん中央機関事務局

E-mail :

shounigankyoten@ncchd.go.jp

電話 :

03-3416-0181(代表) 内線7331、7542 (平日9:00~16:00)

情報公開について

病院の基本情報は特に記載がない場合、2017年1月1日現在のものです。

小児がん診療施設情報 -- 関東甲信越ブロック

NO.	都道府県	施設一覧
1	茨城県	茨城県立こども病院
2	茨城県	筑波大学附属病院
3	栃木県	獨協医科大学病院
4	栃木県	自治医科大学附属病院
5	群馬県	群馬県立小児医療センター
6	群馬県	群馬大学医学部附属病院
7	埼玉県	★埼玉県立小児医療センター
8	埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター
9	千葉県	千葉大学医学部附属病院
10	千葉県	成田赤十字病院
11	千葉県	日本医科大学千葉北総病院



東京都小児がん診療連携協議会参加施設の情報公開

医療機関名

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	
住 所	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1
施設ホームページ	http://www.ncchd.go.jp/
<<患者相談窓口>>: 名称、電話、Fax、メールアドレス、対応可能時間	
名 称	小児がん相談窓口/小児がん医療相談ホットライン
電 話	小児がん相談窓口:03-3416-0181(病院代表) / 小児がん医療相談ホットライン:03-5494-8159
F A X	なし
メールアドレス	なし
対応可能時間	小児がん相談窓口:月曜日～金曜日 8時30分～17時00分 / 小児がん医療相談ホットライン:平日10:00～16:00
<<医療機関相談窓口>>: 名称、電話、Fax、メールアドレス、対応可能時間	
名 称	医療連携・患者支援センター 医療連携室
電 話	03-3416-0181(病院代表)
F A X	03-5494-7682
メールアドレス	なし
対応可能時間	月曜日～金曜日 8時30分～17時00分

施設の特徴(アピール)

国立成育医療研究センター小児がんセンターは、全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目標としています。拠点病院として、地域の小児がん診療を担う医療機関と連携し、小児がん患者及びその家族が、適正な医療と支援を受けることができるよう、全面的にサポートします。

診療受け入れ容量

小児がん病床(対応可能数)	60
集中治療室(うちPICU、HCU)	12(12)
外来化学療法(◎実績あり、○可能)	◎
休日・夜間救急対応(◎院外患者対応可能(条件記載)、○院内患者のみ対応可能)	◎
フォローアップ外来(◎フォローアップ専門外来、○そのほかの外来)(外来日)	◎ 月金:午前 火水木:午後

小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科

血液腫瘍科 移植・細胞治療科
固形腫瘍科 脳神経腫瘍科
小児外科 移植外科
脳神経外科 眼科 整形外科
放射線科 病理診断科

面会時間
面会可能者
集中治療室面会時間
面会可能者
付き添い(○不要、◎希望で24時間可能、□24時間必要、他(具体的に記載))
入院可能年齢

相談窓口
患者家族宿泊施設(◎敷地内、○近隣)
代表的施設名
患者同胞短時間預かり施設(◎院内、○近隣)
患者家族休憩室(◎予約不要、○予約要)
院内患者家族会(名称、連絡先)

院内学級(◎:分教室、○:訪問教育)	◎
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
高校生への教育支援体制(◎:分教室、○:訪問教育)	◎
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
就学前児童保育	○
保育士	○
臨床心理士	○
チャイルドライフスペシャリスト	○
ホスピタルプレイスペシャリスト	
子ども療養支援士	
ソーシャルワーカー	○

上記は小児がん診療に実際に携わる人員です。

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2016			2015			2014		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	41	1~3	44	44	1~3	46	26	0	26
急性リンパ性白血病	15	1~3	16	12	1~3	13	7~9	0	7~9
急性骨髄性白血病	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
まれな白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCML	1~3	0	1~3	0	0	0	1~3	0	1~3
MDS/MPDのうちCMLを除く	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
非ホジキンリンパ腫	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
ホジキンリンパ腫	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	0	0	0
その他のリンパ増殖性疾患	0	0	0	1~3	0	1~3	0	0	0
組織球症(HLH)	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
組織球症(LCH)	1~3	0	1~3	4~6	1~3	4~6	1~3	0	1~3
その他の組織球症	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	4~6	0	4~6
その他の造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Down症TAM登録	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
固形腫瘍	69	4~6	75	59	1~3	61	50	4	54
神経芽腫瘍群	7~9	1~3	10	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
網膜芽腫	7~9	1~3	10	7~9	0	7~9	1~3	1	1~3
腎腫瘍	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	1~3	1	1~3
肝腫瘍	7~9	0	7~9	7~9	0	7~9	4~6	1~3	7~9
骨腫瘍	0	0	0	0	0	0	1~3	0	1~3
軟部腫瘍	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変以外)	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6
脳脊髄腫瘍	28	1~3	30	27	1~3	28	28	1~3	29
その他の固形腫瘍	4~6	0	4~6	1~3	1~3	1~3	0	0	0
その他の固形腫瘍(具体名)	粘表皮癌 肺芽腫 脾腫瘍			原発不明 ラブドイド 腫瘍					

院内がん登録のデータに基づいて、各ブロックの拠点病院が中心となって診療実績を収集

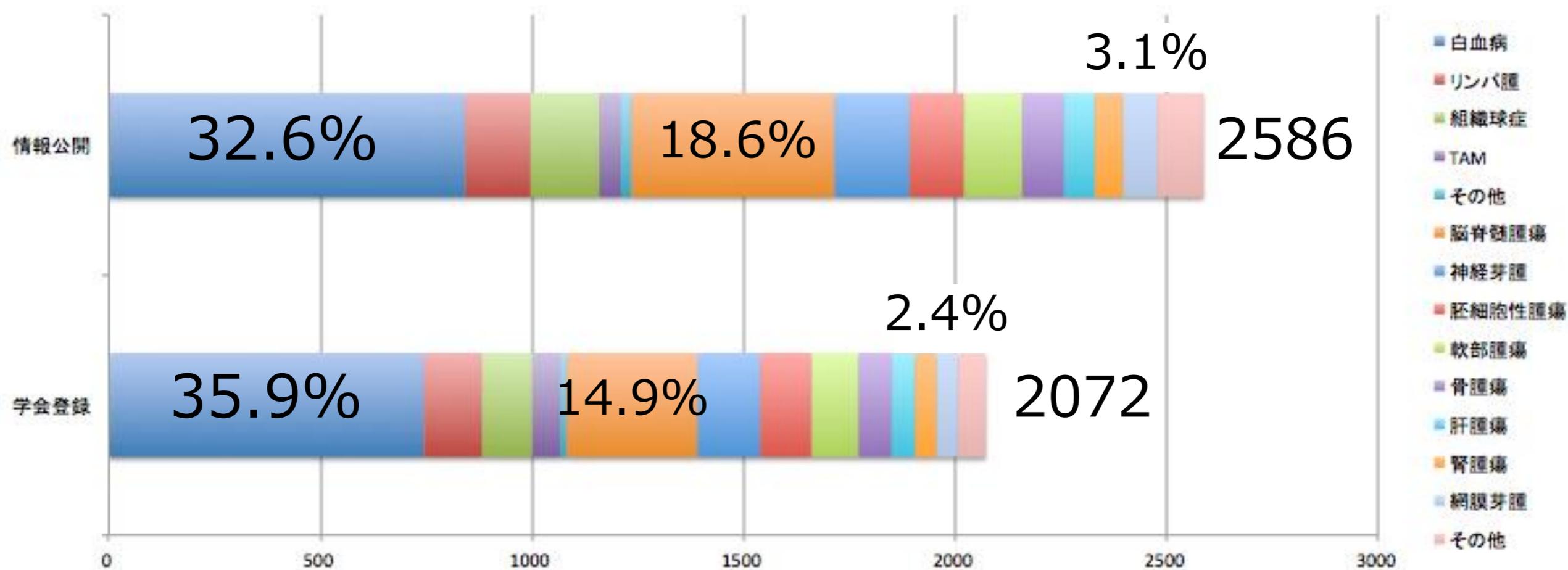
診療実績(入院数)	2016	2015	2014	2013	2010-2012
小児がん入院患者延べ数	766	689	640		
小児がん入院在院延べ日数	15,395	13,736	14,543		
全入院患者延べ数	13,828	13,019	13,254		
全入院患者入院在院延べ日数	141,076	137,688	127,422		

診療実績(造血幹細胞移植)	2016	2015	2014	2013	2010-2012
同種造血細胞移植	17	13	10	10	26
同胞間造血細胞移植	1	2	1	0	5
家族間ハプロ造血細胞移植	1	2	0	2	1
非血縁造血細胞移植	10	1	5	5	11
臍帯血移植	5	8	4	3	9
自家造血細胞移植	7	7	1	7	19
合計	24	20	11	17	45

死亡患者数	2016	2015	2014
血液腫瘍	4	6	5
固形腫瘍	4	4	6
脳・脊髄腫瘍	11	9	7
合計	19	19	18

一人当たりの在院日数 = 在院延べ日数 / 患者延べ数

情報公開と学会登録の疾患分布差



全体 2586 vs 2072
 1.25倍

脳脊髄腫瘍 480 vs 309 1.56倍

眼腫瘍 81 vs 50 1.62倍

血液腫瘍

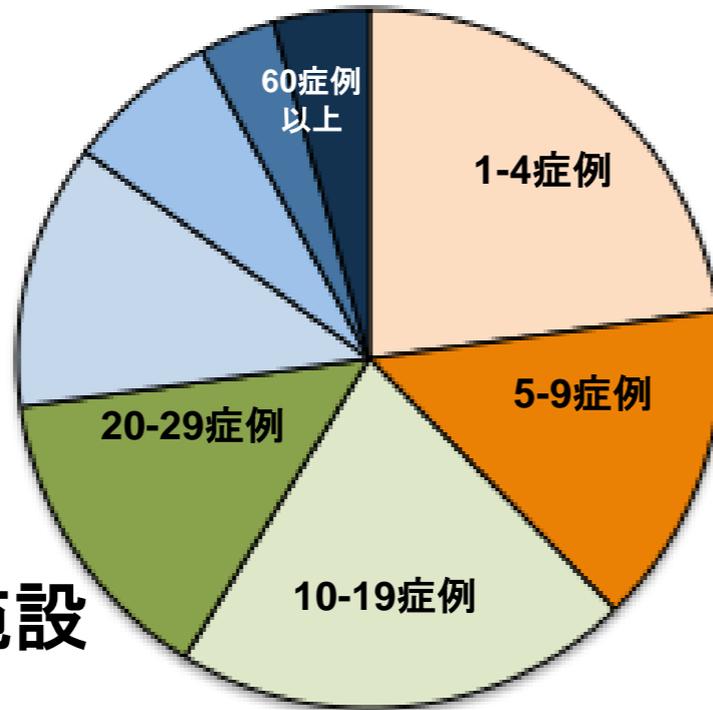
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療病院数

2010-2012

関東甲信越、
中部、近畿

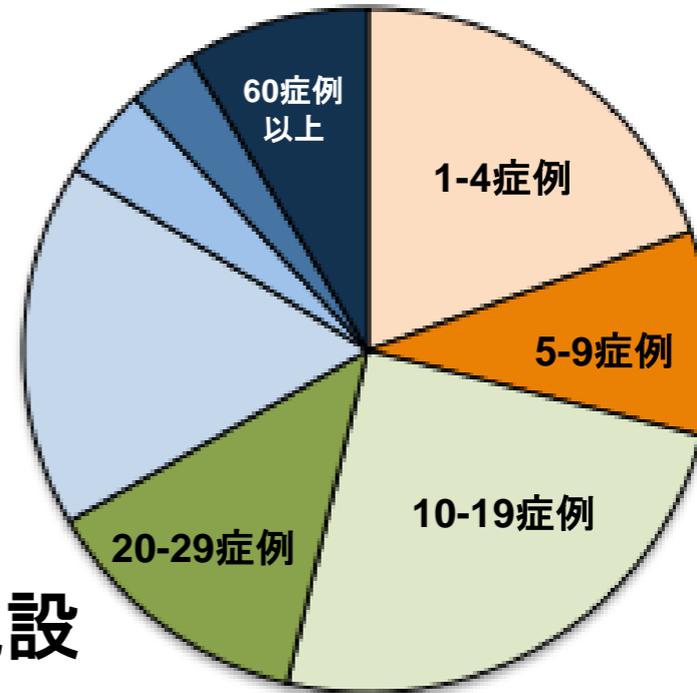
114施設



2013-2015

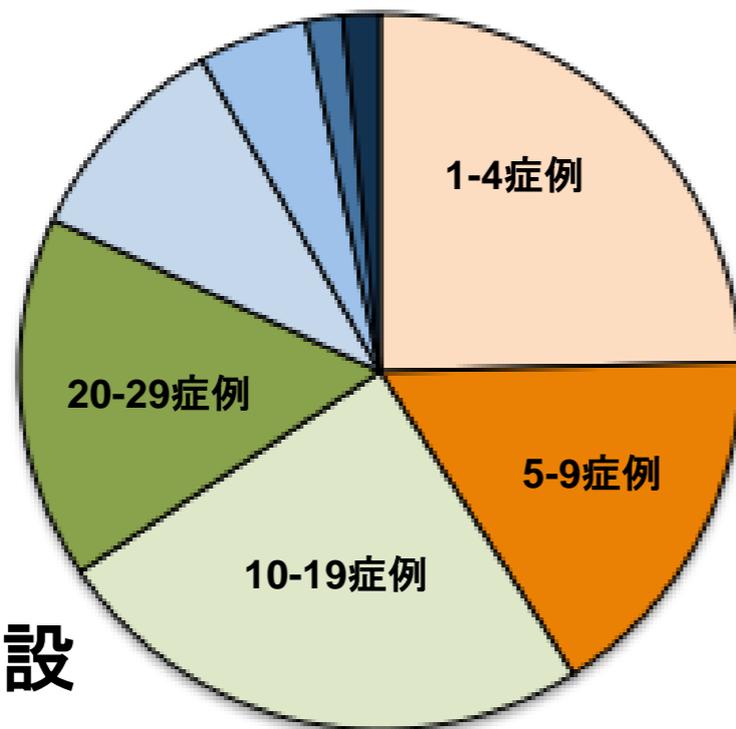


93施設

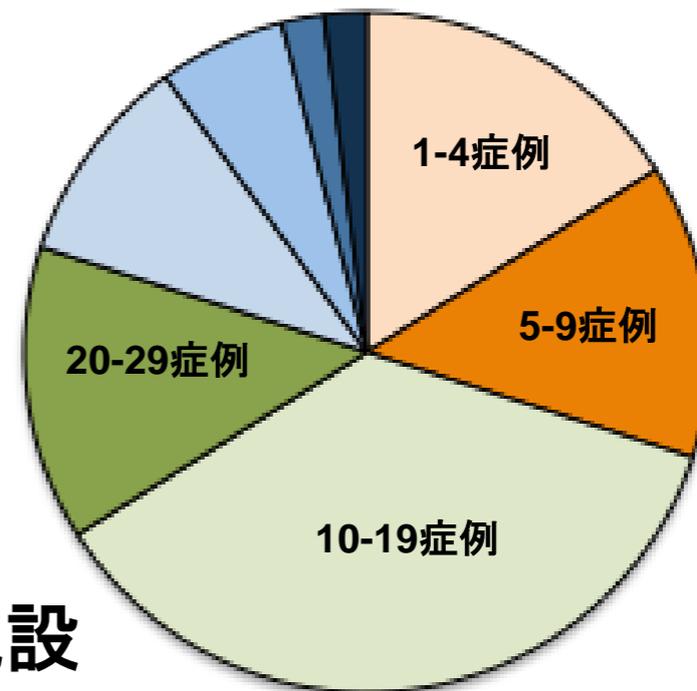


北海道、東北、
中四国、九州

61施設



50施設



血液腫瘍

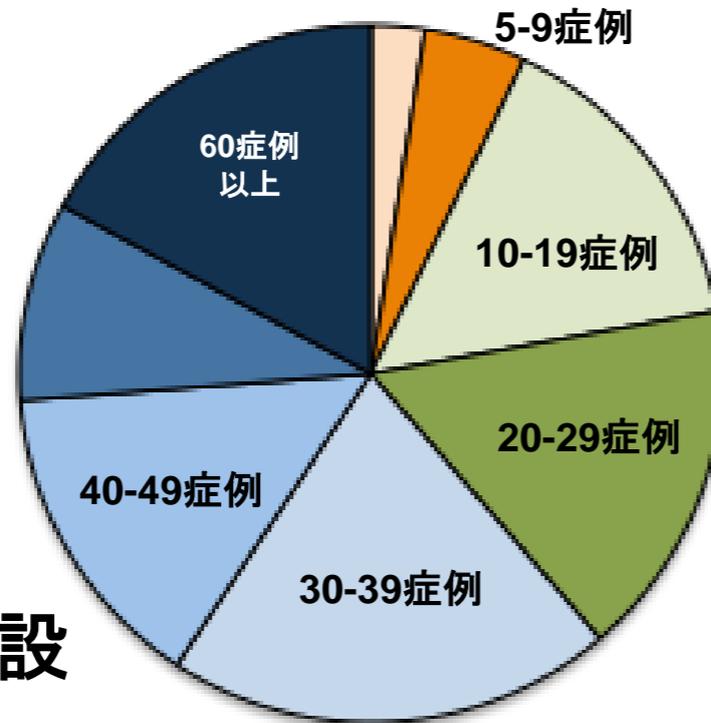
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療患者数

2010-2012

関東甲信越、
中部、近畿

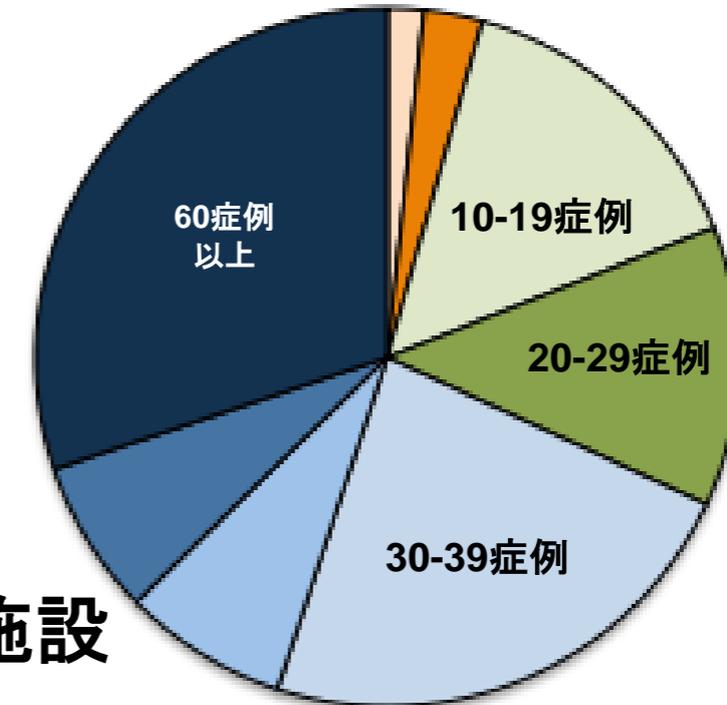
114施設



2013-2015

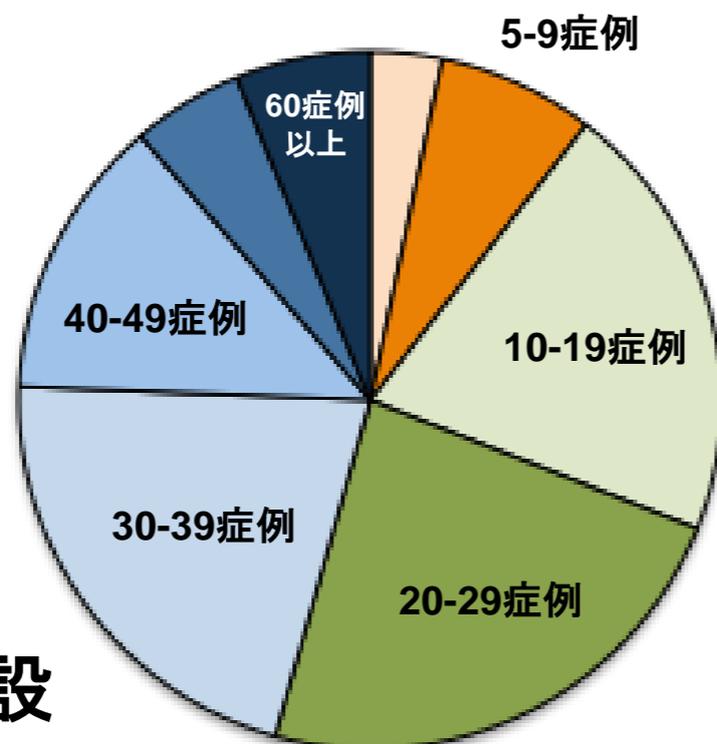


93施設

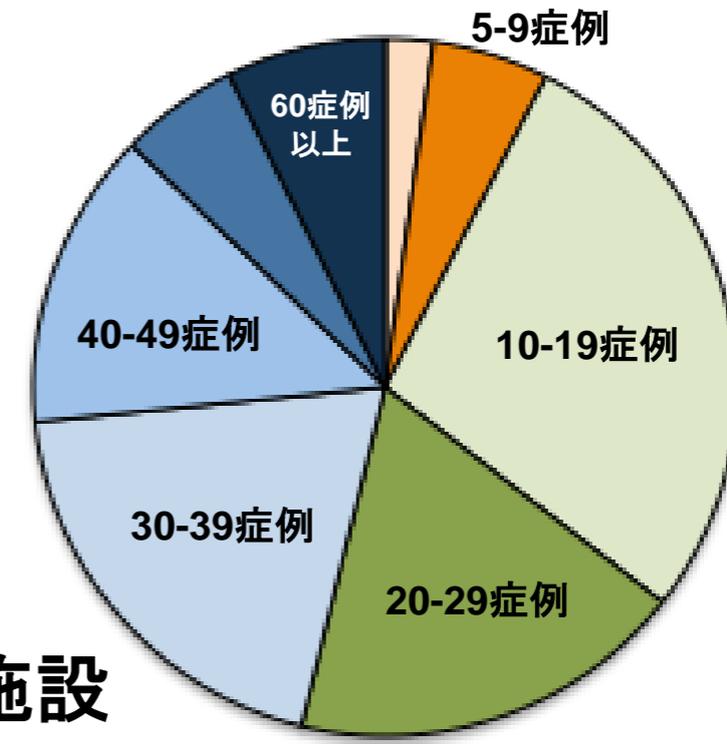


北海道、東北、
中四国、九州

61施設



50施設



固形腫瘍

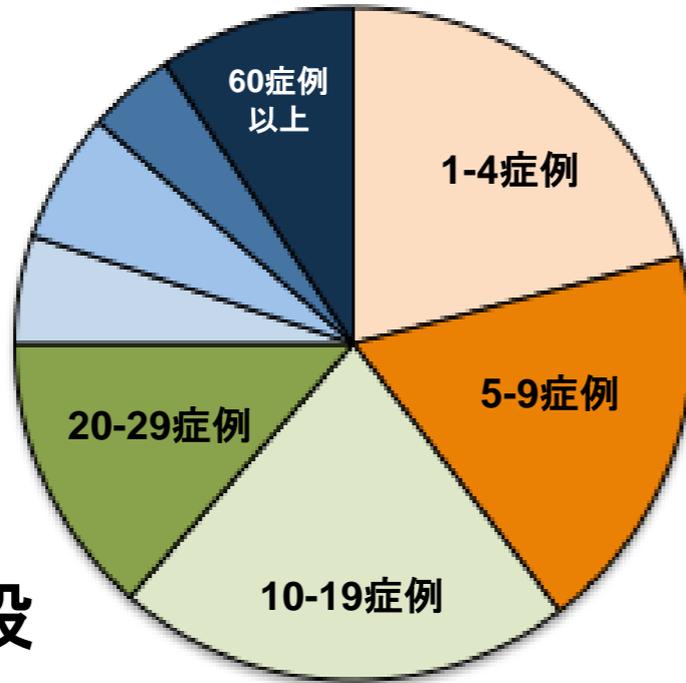
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療病院数

2010-2012

関東甲信越、
中部、近畿

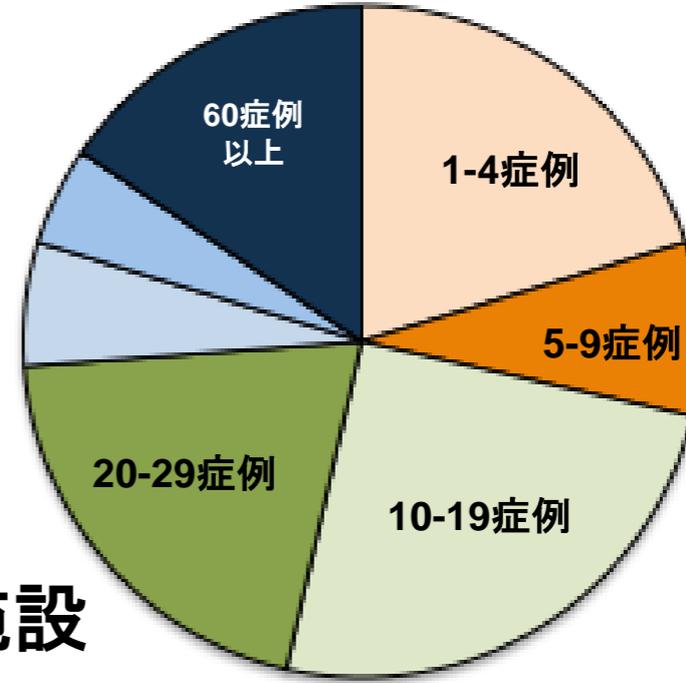
96施設



2013-2015

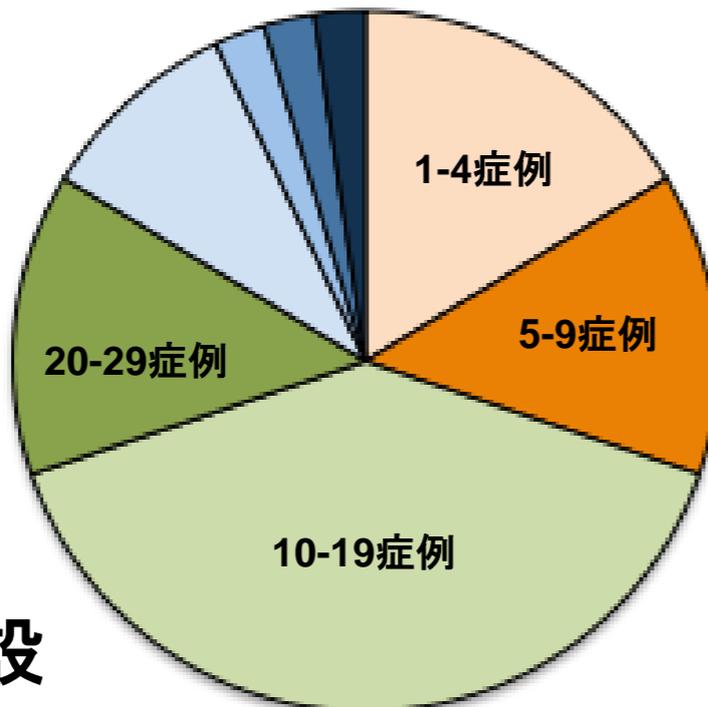


84施設

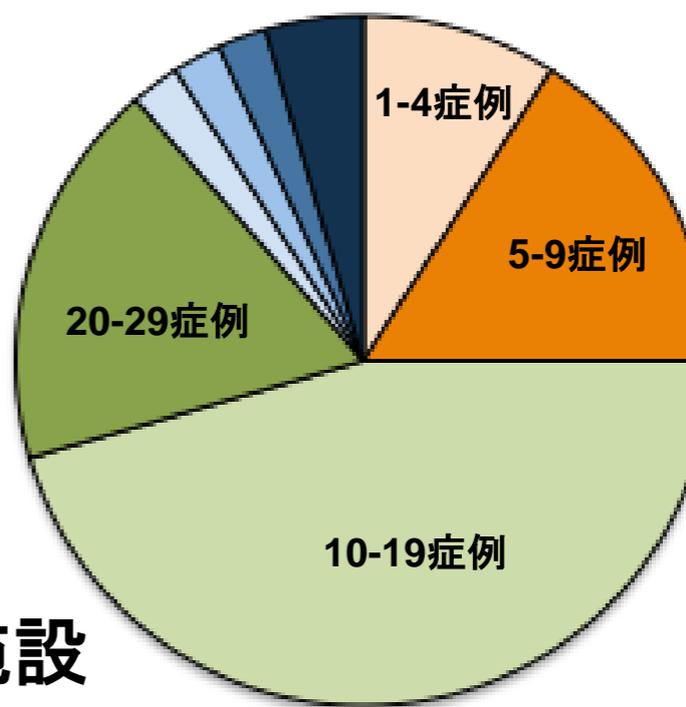


北海道、東北、
中四国、九州

43施設



44施設

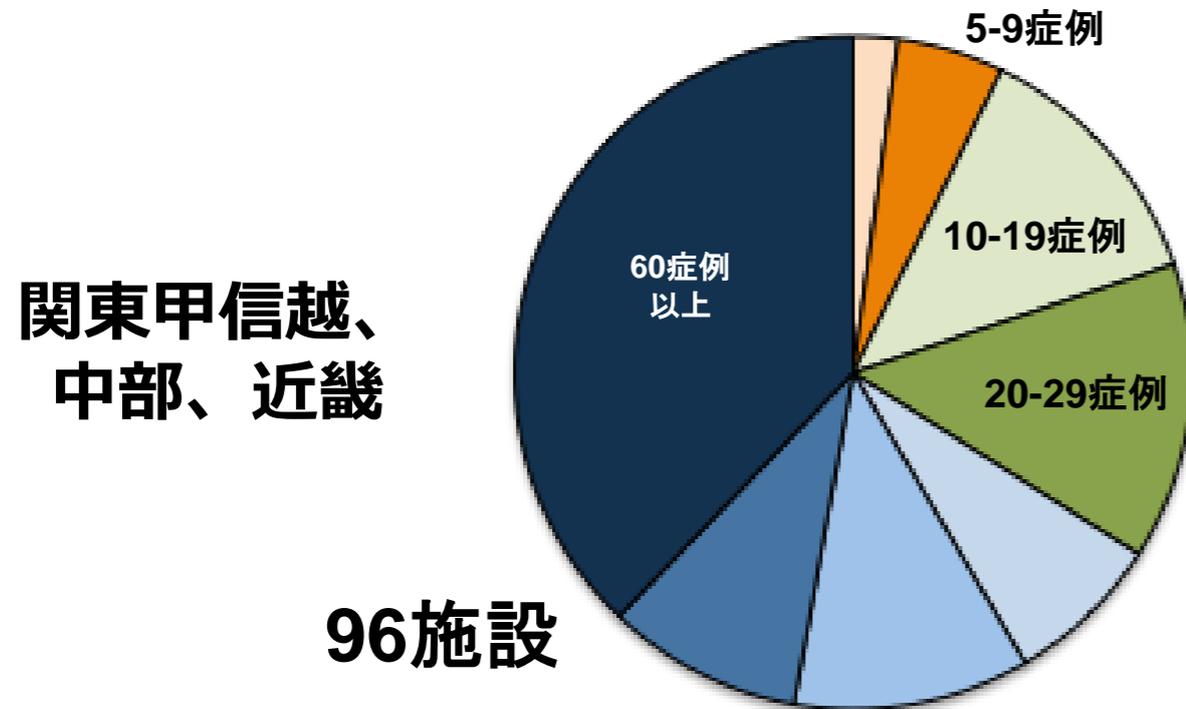


固形腫瘍

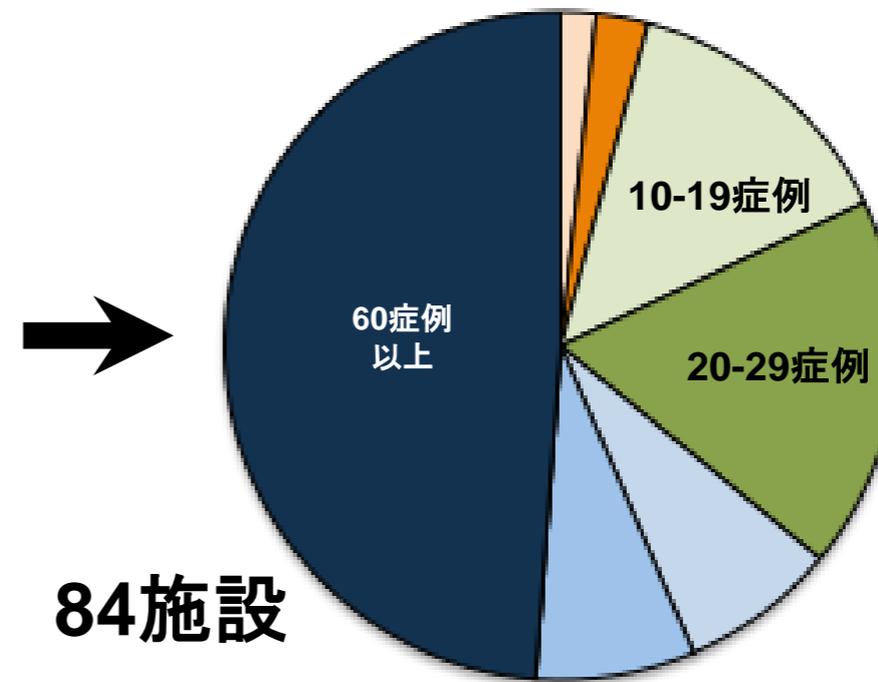
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療患者数

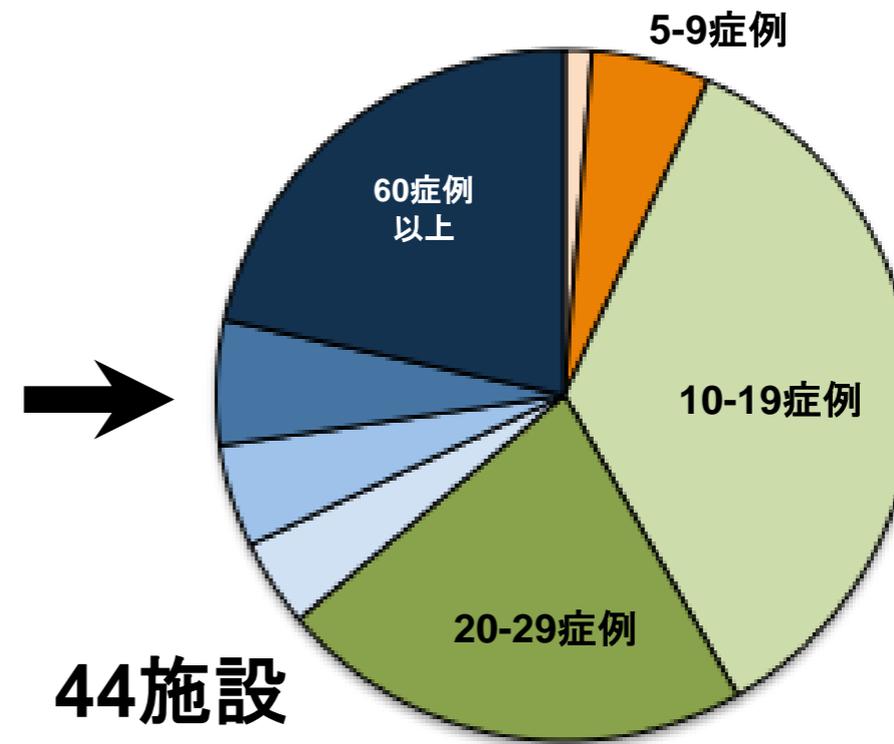
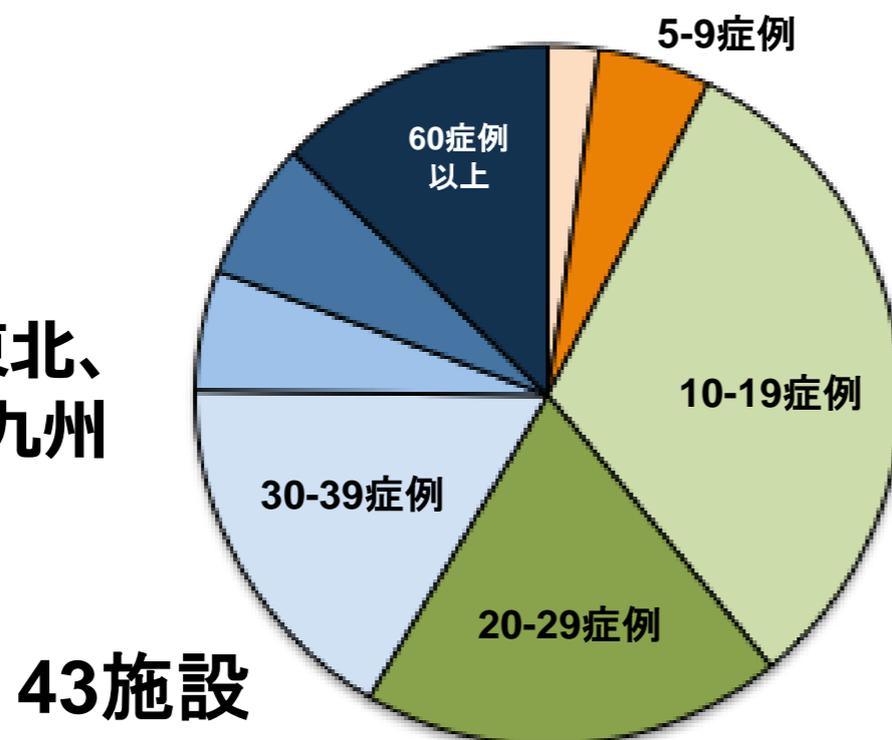
2010-2012



2013-2015



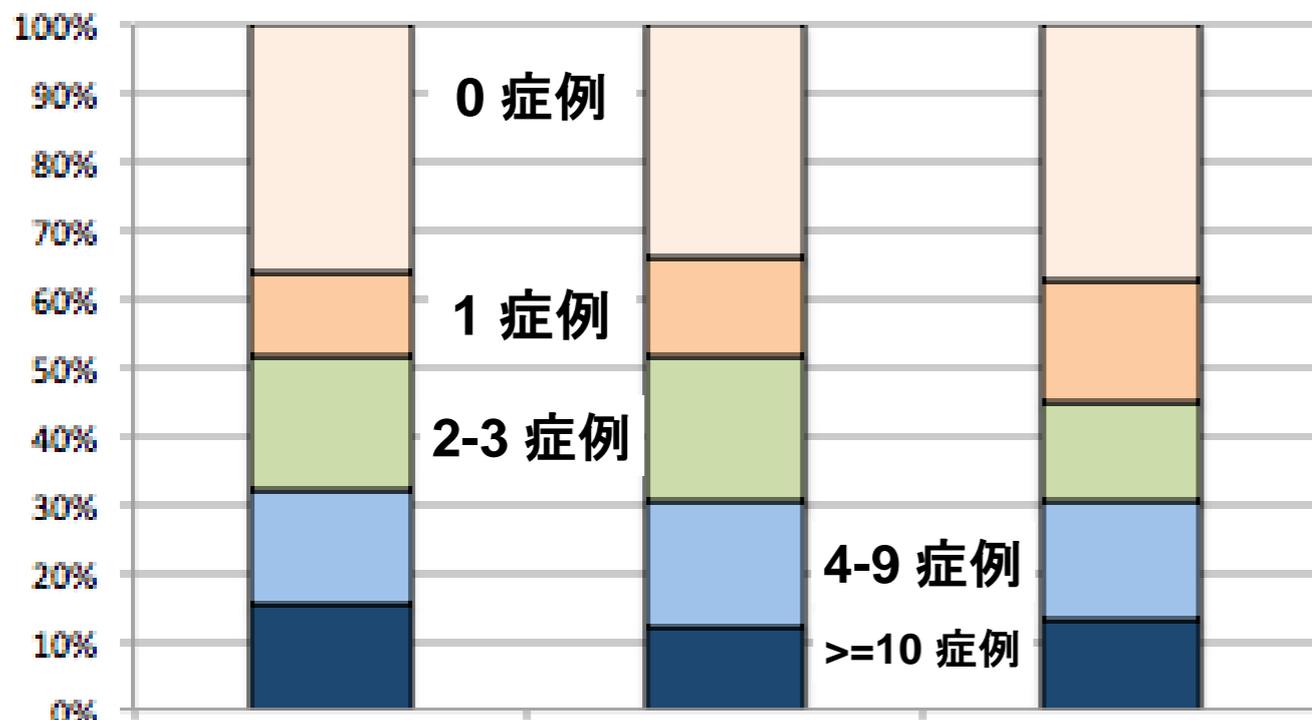
北海道、東北、中四国、九州



- 小児がんの集約化は、血液腫瘍よりも固形腫瘍で進んでいた。
- 血液腫瘍に関しては、小規模の病院の減少傾向は、都市部と地方部で同様であった。大規模病院への集約傾向は、都市部で主に認められた。
- 固形腫瘍に関して、小規模の病院の減少傾向、大規模病院への集約傾向は、緩やかであり、地方部では病院数、診療患者数ともに大きな変動は認められなかった。
- 小児がんの集約化に関しては、血液腫瘍、固形腫瘍間で異なり、都市部と地方部でも異なっていた。
- それぞれで、対応する施策を考える必要性が示唆された。

小児脳腫瘍診療の年次推移

診療病院数



2014

2015

2016

122施設

124施設

124施設

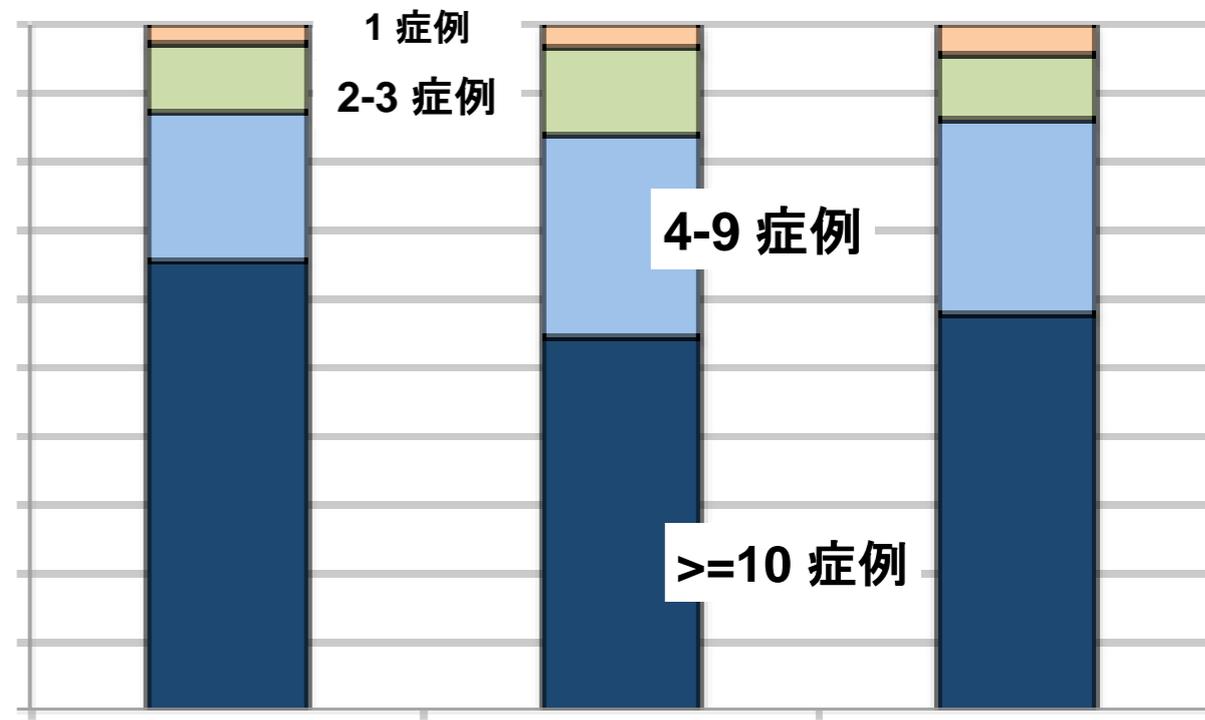
1症例以上を診察している施設数

(78施設)

(82施設)

(78施設)

診療患者数



2014

2015

2016

560人

502人

465人

年次に関わらず年間4例以上を診察する施設数は30%前後であり、
10症例以上診察する施設は15%前後であった。

85%の小児脳腫瘍患者が比較的大規模な病院での診療を受けていることがわかる

小児がん医療相談ホットライン

国立成育医療研究センター 小児がんセンター

小児がん医療相談 ホットライン

診断・治療に関するご相談を随時受け付けています

03-5494-8159

相談無料

平日10:00~16:00

※通話料のみかかります



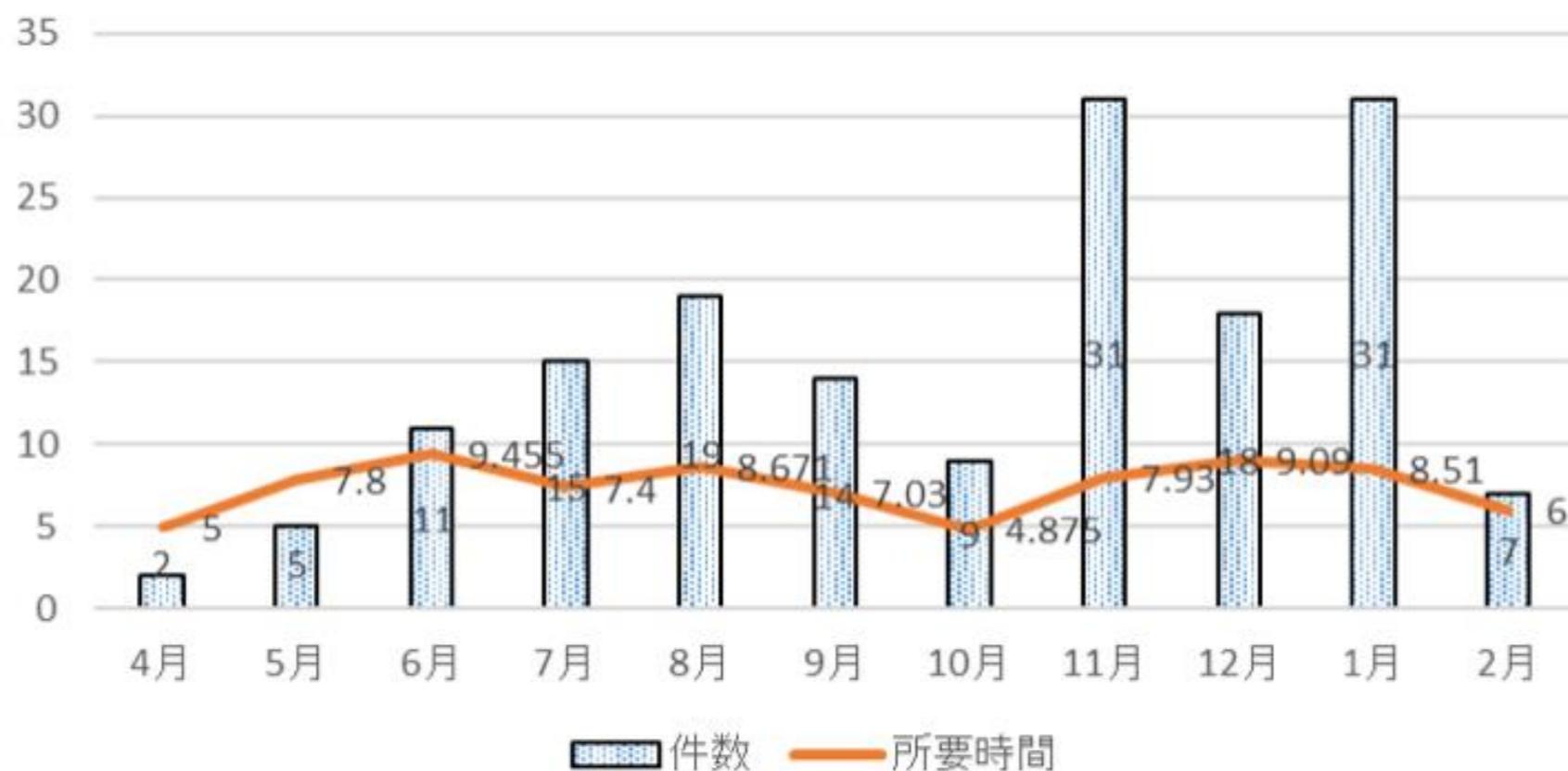
子どもが小児がんと診断された。診断や治療について詳しく知りたい。
主治医に説明してもらったが、内容が難しく十分に理解できない。
いま受けている治療が最適なのかどうか知りたい。専門の医師の意見を聞きたい。
過去に小児がんの治療を受けたが、進学を契機に通院が途絶えてしまった。どこにかかれば良いのか？

小児がん ホットライン

検索

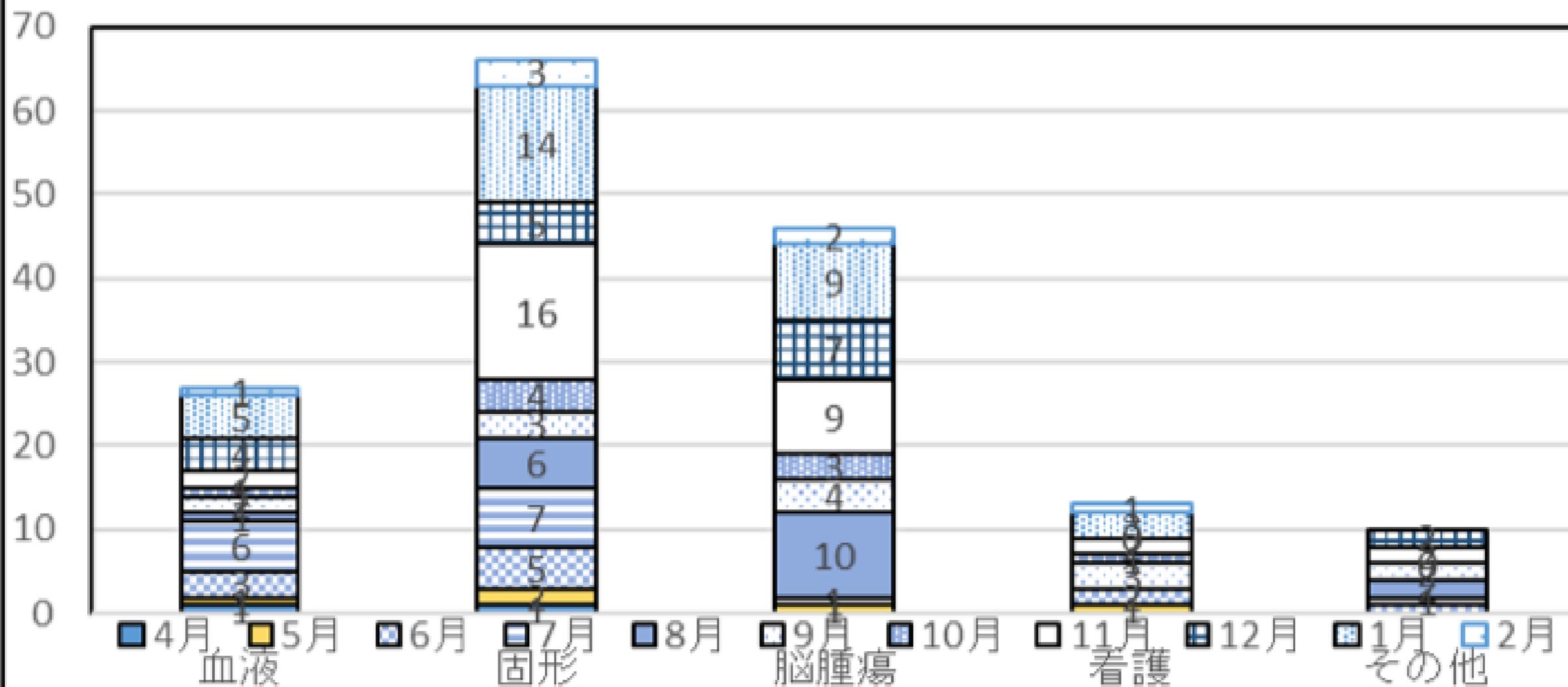


ホットライン相談件数と所要時間



項目	内容
相談分野の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ①固形腫瘍：66件 ②脳腫瘍：46件 ③血液腫瘍：26件 ④看護：13件 ⑤他（受診の手続き等）：10件
看護に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> ➡医師に相談したいが勇気が出ない ➡治療の副作用で食事ができない、食事摂取を促す工夫は？ ➡症状があるが、これってがんの症状？ ➡10年前に治療を受けたが通院が途絶えている ➡治療後の成長・発達について

ホットライン相談分野



課題

- ①電話応対術の向上
- ②看護相談を受けた時に回答できるよう、看護のスキルアップが必要
- ③ホットラインの周知・広報